

第4学年

読むこと②

登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読むこと

つまずきの実態

～こんな児童の姿が見られませんか？～

登場人物の姿・様子について、文中の一部から表面的にしかとらえられない。

なぜ、このようないたづらをするのか、という部分まで踏みこめていない。

人間がこまるよう
ないたづらばかりす
るきつねです。

ごんはいたづらっ子
だったことが分かり
ました。

本文中の「いたづらばかりしました。」という表現にし
か注目できていない。

実践の概要

単元名

読んで考えたことを話し合おう

『ごんぎつね』 光村図書

目標 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読むことができる。

- 内容**
- 感想を発表し合い、学習への見通しをもつ。
 - 場面ごとに読み、登場人物の関係や心情について考える。
 - ごんの心情をまとめた「ごん日記」を書き、紹介し合う。

学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

	学習内容（単元名）	つまずきの実態
第6学年	宮沢賢治が創り出す世界を味わおう	登場人物の相互関係や場面についての描写をとらえることができず、主題にせまる考えをもつことができない。
第5学年	すぐれた表現に着目して、物語のみりよくを伝え合おう	一方的なものの見方から抜け出せず、主題にせまる感想をもつことができない。
第4学年	読んで考えたことを話し合おう	登場人物の姿・様子について、文中の一部から表面的にしかとらえられない。
第3学年	場所の移り変わりをとらえて感想をまとめよう	中心人物の様子を表す言葉から、中心人物の置かれている状況を想像して、気持ちを書くことができない。
第2学年	音読げきをしよう	叙述に込められている登場人物の気持ちの変化を想像することができない。
第1学年	音読発表会をしよう	場面の様子や登場人物の言動を表す言葉を見つけ、想像を広げることができない。

単元末の目指す姿

- 自分の想像からではなく、文中の表現を根拠として人物の気持ちについて考えることができるようになる。
- ワークシートを用いることで、自分の考えを整理してまとめることができる。

つまづき解消に向けた指導の工夫 ①

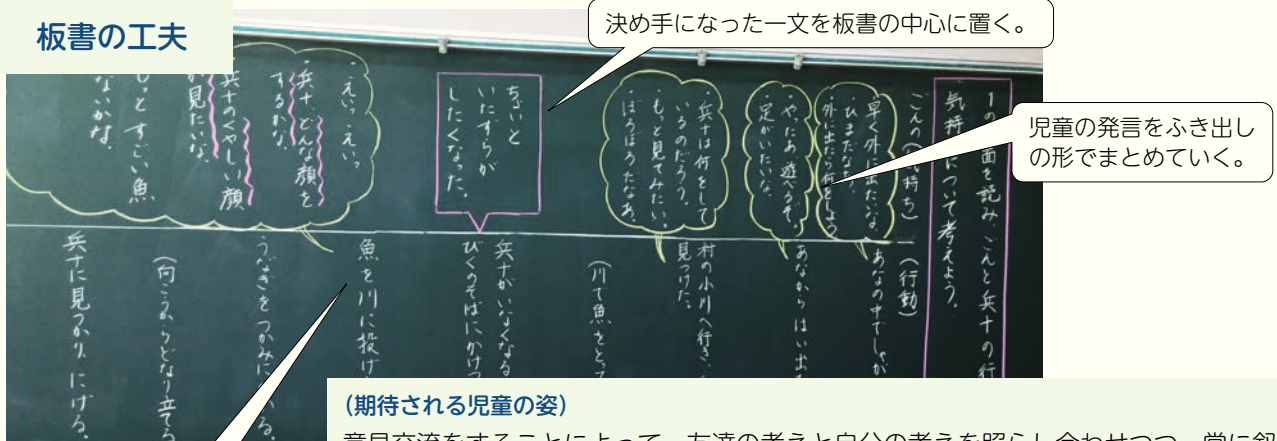
主人公の気持ちが最も表れている一文を見つけさせる。

活動のねらい ▶ 一文に込められた意味を考え、そこから登場人物の行動や心情の変化をとらえさせる。

ここがポイント

- 登場人物の気持ちが変わったと考えられる一文を選ぶ。
- 叙述をもとに選んだ理由を交流させる中で、共通点等を整理し、行動の背景にある心情についても考えさせる。

板書の工夫



決め手になった一文を板書の中心に置く。

児童の発言をふき出しの形でまとめていく。

(期待される児童の姿)

意見交流をすることによって、友達の考えと自分の考えを照らし合わせつつ、常に叙述を根拠にしながら検討をすることができる。また、ごんの行動について、その背景となる気持ちまで読み深めることができる。

児童に配るワークシートと同様の構成にする。

つまづき解消に向けた指導の工夫 ②

ワークシートで、登場人物の行動と気持ちの関係を整理させる。

活動のねらい ▶ 文中の言葉を根拠として、人物の心情に迫らせることができる。

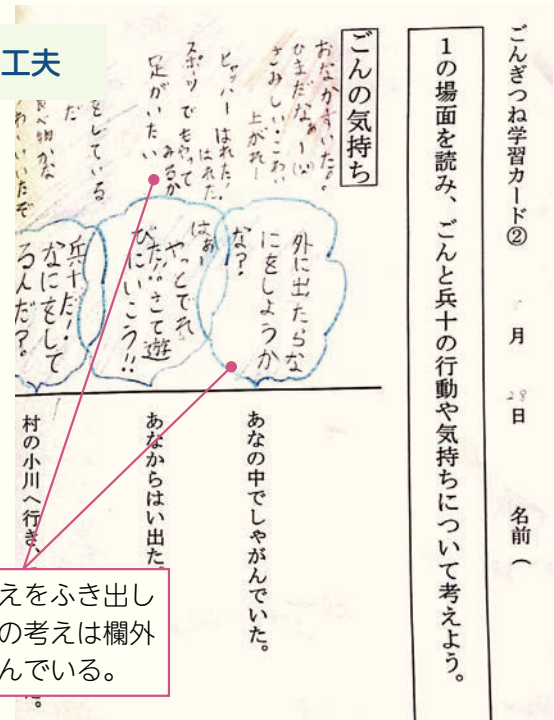
ワークシートの工夫

ここがポイント

ワークシートの下段に、教材文に記載されている登場人物の行動を示しておく。上段の空きスペースにふき出しを作り、それぞれの行動に対応するように気持ちを書きこませる。気持ちが変わった部分のふき出しには違う色を付けさせ、気持ちの変化について整理をさせていく。

(期待される児童の姿)

ごんの行動についての叙述と、その時の気持ちを時系列に整理していくことで、因果関係をとらえ、気持ちの変化を明確にとらえることができる。



自分の考えをふき出しに、友達の考えは欄外に書きこんでいる。